

平成18年度事業報告書

特定非営利活動法人 科学協力学際センター

1. 事業の成果

設立4年目となる当年度は、ホームページ、季刊誌、デジタルメディアを活用し多くの一般市民に事業内容及び当センターの価値を理解して頂く情報発信事業を進める事ができた。また、現在までに発掘した学際的科学技術関連の有望な技術／アイデアに焦点を絞り、国内外を問わない学際的科学技術のさらなる振興と発展にも寄与する事ができた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業概要	平成18年度事業内容(案)	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
学際的科学に関連する研究等の情報収集発信事業	ホームページでグループウェアを構築し、学際的科学技術開発の情報を収集すると共にそれらの情報提供を行う。	- 季刊誌テクノフロップスの発行 - テクノフロップスのCD-ROM化及び教材化の検討 - 会員様及び会員企業様に関する情報発信	通年	科学協力学際センター事務局等	7名	一般市民不特定多数	1,993
産学官共同研究による技術開発及び情報化推進事業	学際的科学技術に関連する研究を産学官共同で行うことにより、技術開発や情報化を推進する。	- 総務省、経済産業省等への提案 - 台湾東元電機グループとの共同研究 - 宮城県、仙台市と国内外研究機関及び企業との交流支援	通年	科学協力学際センター事務局等	10名	学際的科学技術関係者約120名	2,387
学際的科学技術に基づく新産業創出発展事業	学際的科学技術に基づいて、新たな産業の創出をすると共に、それらの産業を発展させる為に調査等の事業を実施する。	- ナノ・メディスン・プロジェクトの支援継続	通年	東北大学学際科学国際高等研究センター等	10名	学際的科学技術関係者約120名	49
学際的科学技術従事者育成事業	学際的科学技術の研究等に従事する、学生や研究者の育成を行う。	- 医療工学技術者育成のための再教育システムプロジェクト支援 - サイエンスエンジェルプロジェクトの支援	通年	東北大学学際科学国際高等研究センター等	10名	学際的科学技術関係者約50名	170
講演会開催等による学際的科学技術振興事業	学際科学とは何かを知ってもらう為、講演会を開催すると共に、技術開発の成果について発表する。	- IBM全国ユーザシンポジウムでの講演 - 台湾におけるナノテク講演 - 九州経済研究会での講演 - ERIC,米国PLTとの共催での環境・教育に関する講演	通年	仙台市 福岡市 台北市	12名	学際的科学技術関係者約120名	821